

冷やしそうめんなどの提供と 生活支援物資お渡し会



福島・石川県農
民連の方々の冷
やしそうめん
お渡し会に多く
の方が参加

7月18日(木) 天気も良
く暑くなり、穴水町の陸上
競技場に作られている大規
模仮設で、福島県農民連の
10名の方と、地元石川県
農民連の2名の方で、冷や
しそうめんの炊き出しと、
キノコの炊き込みご飯のオ
ニギリの提供が行われまし
た。事前にビラも入れて、
当日は社協の協力もあり、
200人以上の方が参加さ
れて、おいしい冷やしそ
めんをいただきました。
このそうめんは福島県の
会津の方が栽培している貴
重な小麦粉で作られたもの
です。

さらに、そうめん
のほかに、キュウリ
とミニトマトを、冷
やして持ってきてく
れました。キュウリ
は味噌をつけて食べ
れるように用意もし
てくれて、大変喜ば
れました。キノコ入
りの炊き込みご飯の
おにぎりも用意され、
皆さん美味しくいた
だきました。
集会所の外では、
被災者の皆さんへの

生活物資のお渡し会も行
われ、大変に賑わいまし
た。
この仮設は県内でも、
最大規模の仮設住宅。1
80戸の規模の大きい仮
設で、名士白屋のボランティア
の方が常駐されていま
す。
冷やしそうめんの炊き
出し会に来られた方や、
お渡し会に参加された方々
が、知り合いの顔を見つ
けだして「お久しぶり、
元気だった」「あんだこの
仮設に入っていたんだね
大きすぎて、知らんかつ
た。元気そうで、あえて
よかった」という会話が
あちこちで交わされてい
ました。被災後消息を知
らなかつた方々がお互い
の無事を確かめ合い、喜
ぶ交流が、あちこちで行
われるという状況でした。
参加した事務局の方々
は、個々の仮設訪問も非
常に大事で今後も行っ
ていきたいが、仮設に入っ
ておられる方の交流の場
としても「お渡し会」も
大事だねと話していまし
た。